



4月はスタートの季節です。新たな気持ちでがんばって行きたいものです。

パソコン環境はWINDOWS10への移行が進んでいます。

特別の事情がある方以外は、7月までは無料ですのでアップグレードをお勧めします。最近、何もしていないのにwindows10に自動的にアップグレードしていたとい

う話も聞きます。アップグレードには、時間的に3時間程かかりますので、時間に余裕のある時にやってください。もし、アップグレードに不安がある方は申し出てください。

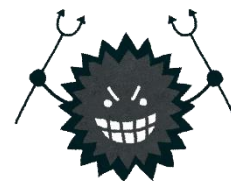
3月の教室開催日は右のとおりですので、よろしくお願いします。

2016 << 4月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



豆ちしき

小包配達通知を装うメールに注意



添付ファイルを開くとマルウェアに感染

日本郵政は14日、「JAPAN POST ジャパン」や「日本郵政」等を名乗って小包の配達を装った不審メールが送られているとして注意を呼びかけた。添付されているファイルを開くと、マルウェア（ウイルス）に感染するおそれがある。

メールの本文には「商品配達のために電話をしたがつながらなかった。メールに添付してある委託運送状を印刷して最寄りの取扱郵便局に問合せるように」などと書かれており、芝浦海岸通郵便局が入居しているビルの名称と住所（東京都港区芝浦4-13-23）が記載されている。

■添付の圧縮ファイルを開くとマルウェア感染の恐れ

これらのメールを受け取っただけでは何も起こらないが、日本マイクロソフト System Center Support Team の17日付のブログによると、メールに仕掛けられているのは「TrojanDropper:Win32/Rovnix.P」。感染したパソコンに他のマルウェアを呼び込もうとする。

■国内金融機関を標的にカスタマイズされた不正送金ウイルス

Rovnix をめぐっては同じく17日、セキュリティ専門企業のセキュアブレインが注意喚起を行っている。同社によると、Rovnix は以前より確認されていた不正送金ウイルスで、

同社が今回捕獲した Rovnix は、国内の金融機関をターゲットとするようカスタマイズされているという。

感染したパソコンで攻撃対象の金融機関のインターネットバンキングのログインページにアクセスした場合、攻撃者のサーバーから不正なスクリプトが読み込まれ、ログインページが改ざんされる。改ざんされたログインページで情報を入力しログインボタンを押すと、攻撃者のサーバーに情報が送られてしまう。

このメールに限らず身に覚えのないメールの添付ファイルは開かないよう注意したい。



プロポーションナルフォントと等幅フォントについて

プロポーションナル フォントについて

フォント名に P のつくフォント（MS P 明朝、MS P ゴシックなど）は**プロポーションナルフォント**と呼ばれ、文字の横幅がそれぞれの文字によって異なります。プロポーションナルフォントを使用すると体裁のよい文章が作成できます。

WIN MS P 明朝

等幅フォントについて

フォント名に P のつかないフォント（MS 明朝、MS ゴシックなど）は**等幅フォント**と呼ばれ、全角文字、半角文字のそれぞれの文字の横幅が統一されています。均等割付などで入力する場合、等幅フォントを使用します。

WIN MS 明朝

ワードの「ページ設定」で1行に入力される文字数を決めても、行内に半角英数字が入力されていたりプロポーションナルフォントを利用していたりすると、行によって文字数が揃いません。1行に入力する文字数をそろえたい場合や文字を等間隔に配置したい場合は、等幅フォントを使います。

MS明朝体	MS P 明朝体
文字の間隔が広くバラバラ。	文字の間隔が均等に詰まっている。
フォントを構成している領域は同じ間隔。	フォントを構成している領域はそれぞれの文字に合わせた間隔。
全体のバランスが悪い	全体のバランスが良い（均整がとれている）

普通のフォントは、縦位置に文字がそろって、横位置の文字の間隔がバラバラで、全体のバランスが悪い。プロポーションナルフォントは文字の間隔が均等に詰まっていて全体のバランスが良い。